

故事成語 2

故事成語の意味がわかる

月 日
名 前

■ 次の意味にあてはまる故事成語を から選んで記号で書きましよう。

(1) 「一面の緑色の草むらの中に赤い花が一輪だけさいている」という詩の一節から、たくさんさんの男性の中に女性が一人だけいること。

人さし指のいさを「食指」といふ。

(ウ)

(2) おいしい食べ物が食べられるときに人さし指が動く人物の話から、食欲がおこったり、何かをほしいと思ったりすること。

(エ)

(3) 熱い汁物を食べてやけどをした人が、冷たいあえ物を食べる時にも用心して息をふいて冷まそうとしたという話から、失敗にこりて必要以上に用心深くなること。

(キ)

(4) ある美しい女性が病気に苦しみ、まゆをひそめて歩くのを美しいと思った別の女性が、まねをしてまゆをひそめて歩いた。しかし、周りの人にいやがられたという話から、よいか悪いか考えずに、むやみに人のまねをすること。

(ア)

(5) 竹の最初の一節をわると、あとは勢いよくわれていくということから、だれにも止められないくらい勢いが激しい様子。

(オ)

(6) 黄河という川の上流に「竜門」という流れの急なところがある。そこをのぼることができたコイは竜になれるという伝説から、そこをくぐりぬければ出世したり成功できたりする難しい試験や審査を指している言葉。

(カ)

(7) 気に入らない人には白眼で応対し、気に入った人には青眼で応対した人物の話から、人を冷たい目つきで見たり、冷たくあつかったりすること。

(イ)

ア	ひそみにならう	イ	白眼視	ウ	紅一点
エ	食指が動く	オ	破竹の勢い	カ	登竜門
キ	羹に懲りて膾を吹く				